

野生ランの展示（フクシア温室）

尾崎健司・須田泰夫

本園では1997年3月からフクシア温室（旧ベゴニア温室）の一画を利用し、栽培温室で開花した野生ランを随時入れ替えながら展示している。当初2年間の展示状況は、本園栽培記録第19号「フクシア温室内に展示した野

生ラン」（濱谷、1998）及び同20号「一般入園者に公開した野生ラン」（同、1999）において報告している。その後展示した種類はこれらの報告にある一覧表にほぼ含まれるが、当時から5年経過し新たな種類もあるので、2002年4月～12月の状況を記録しておく。なお、表中の月・旬欄の○印は展示開始時期を示している。1株の展示期間は、長いものでは*Stenoglottis*が6週間程度、短いものでは*Stanhopea*が約1週間であった。

表 4月から12月の展示状況

植 物 名	栽培場 (注)	展示開始時期 (上: 上旬 中: 中旬 下: 下旬)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Ascocentrum	miniatum	C						中			
Bifrenaria	harrisoniae	C	下								
Bothriochilus	bellus	C								中	
Bothriochilus	macrostachyus	※	C					中			
Brachtia	andian	B							上	上	
Brassia	lawrenceana f.longissima	C								上	
Bulbophyllum	bequaertii	※	D				中				
Bulbophyllum	fascinator	※	D							下	
Bulbophyllum	lobbii	※	D				下	中			
Bulbophyllum	trigonidoides	※	D							中	
Cadetia	taylori	C								上	
Cattleya	aclandiae	※	D					上			
Cattleya	aurantiaca		D	下							
Cattleya	bowringiana 'Splendens'	D						中・下			
Cattleya	bowringiana var.coerulea	D						下			
Cattleya	guttata var.leopoldii	D						下			
Cochlioda	noezliana	B	下				下				
Cochlioda	rosea	B							上		
Coelogyne	fuliginosa	E							上		
Coelogyne	rossiana	C								下	
Cryptochilus	sanguinea	B		中							
Cymbidium	floribundum var.pumilum	C	下								
Dendrobium	bigibbum var.superbum		D							上	
Dendrobium	subvar.superbum										
Dendrobium	cyanocentrum	B								上	
Dendrobium	delacourii	D				下		上			
Dendrobium	farmerii	D	下								
Dendrobium	formosum var.giganteum	D			中	上					
Dendrobium	mohlianum	D	下								
Dendrobium	phlox	B							上		
Dendrobium	pierardii	D					上				
Dendrobium	secundum alba	D		中				上			
Dendrobium	victoriae-reginae	D	下								
Dendrochilum	cobbianum	E							上		
Dendrochilum	filiforme	※	D			中	上				
Dendrochilum	formosanum	C								上	
Dendrochilum	longifolium	C							中		
Dipteranthus	pellucides	※	B							上	
Diuris	punctata	B	下								
Dracula	bella	※	B							上	
Epidendrum	atropurpureum	D		中		上					
Epidendrum	brassavolae	D								中	
Epidendrum	bulbosum	C							下		
Epidendrum	calamarium	C								中	

(注) A: 最低20℃ (25℃以上で天窓開. ミスト室)

A': 最低20℃ (25℃以上で天窓開. ミスト室. 夏季は屋外の遮光下)

B: 冬季最低15℃ (夏季昼温25℃、夜温15℃. 冷房温室)

C: 最低15℃ (25℃以上で天窓開. 1・9号棟)

D: 最低12℃ (25℃以上で天窓開. 4・7号棟)

E: 最低12℃ (25℃以上で天窓開. 夏季は屋外の遮光下. 2号棟)

※印は、新たに展示した種類。

植 物 名	栽培場 (注)	展示開始時期 (上: 上旬 中: 中旬 下: 下旬)									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Epidendrum	esperito-santense	C						下		上	
Epidendrum	flabellifera	※ C		中							
Epidendrum	prismatocarpum	D			中						
Epidendrum	radiatum	C				下					
Epidendrum	vitellinum	B							上		
Eria	corneri	※ D					下				
Eria	fragrans	D							下		
Eria	hyacinthoides	※ D					下				
Eria	ornata	※ D					中				
Gongora	armeniaca	※ C							上		
Gongora	galeata	C			下			上			
Laelia	purpurata	D			中						
Lockhartia	lunifera	C							上		
Luisia	jonesii	※ A*					下				
Lycaste	aromatica	E	下								
Lycaste	ciliata	※ B								下	
Lycaste	longiscapa	B								下	
Masdevallia	corniculata	B		中							
Masdevallia	veitchiana	※ B						上			
Maxillaria	picturata	※ C							中		
Maxillaria	rufescens	C								下	
Maxillaria	tenuifolia	C	下								
Mexicoa	gheibreghiana	C	下								
Micropera	philippinensis	※ A*						上			
Miltonia	clowesii	C					上		上		
Miltonia	phalaenopsis	B			中	上					
Miltonia	schroederiana	B							上		
Miltonia	spectabilis var. moreliana	C					上				
Neolauea	puschella	※ C								上	
Odontoglossum	harryanum	B			中	上					
Odontoglossum	laeve	※ B		中							
Odontoglossum	pescatorei	B		中					上		
Oncidium	altissimum	※ D			中						
Oncidium	concolor	C	下								
Oncidium	hastilabium	C			中		中				
Oncidium	oblongatum	C	下								
Oncidium	ornithorhynchum	C							中		
Oncidium	papilio	C							中		
Oncidium	trilobum	※ C						中			
Oncidium	wentworthianum	D				下					
Paphiopedilum	barbatum	C		中		上					
Paphiopedilum	barbigerum	C								下	
Paphiopedilum	callosum	C			中						
Paphiopedilum	chamberlainianum	C			中		中				
Paphiopedilum	concolor var. hennesianum	C								下	
Paphiopedilum	delenatii	C	下								
Paphiopedilum	haynaldianum	C	下								
Paphiopedilum	insigne var. sanderae	C							中		
Paphiopedilum	kolopakingii	※ A		中							
Paphiopedilum	lawrenceanum	C			中						
Paphiopedilum	liemianum	C	下								
Paphiopedilum	praestans	A		中							
Paphiopedilum	spicerianum	C							下		
Paphiopedilum	sukhakulii	D	下						中		
Paphiopedilum	urbanianum	C		中							
Phalaenopsis	stuartiana	C	下								
Pholidota	chinensis	C	下								
Physosiphon	loddigesii	※ C							中		
Pleurothallis	amparoana	B				中					
Pleurothallis	caespitosa	B		中					上		
Pleurothallis	linearifolia	B	下								
Pleurothallis	pterophora	B		中							
Pleurothallis	minutiflora	B							上		
Pleurothallis	tuerkheimii	※ B							上		
Promenaea	xanthina	B			中	上					
Renanthera	storiei	C						中			
Rhyncostylis	coelestis	※ C				下					

植 物 名	(注)	栽培場	展示開始時期 (上: 上旬 中: 中旬 下: 下旬)								
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Schomburgkia	bryosiana	※	D			下					
Stanhopea	graveolens		E						下		
Stanhopea	saccata	※	E						中		
Stenocoryne	racemosa		B							上	
Stenoglottis	longifolia		C							上	
Sympyglossum	sanguineum	※	B			中					
Trichoglottis	latisepala		E						上		
Trichoglottis	philippinensis		A*						中		
Trichoglottis	philippinensis var. brachiata		A*				下		中		
Tuberolabium	kotoense		C							下	
Vanda	merrillii	※	A*						上		
Xylobium	ornatum		C							上	
Zygotetalum	crinitum	※	E					中			
Zygotetalum	intermedium	※	E	下							



ソーセージノキ開花記録

永井親雄・柴田昌男

大温室内に植栽している *Kigelia pinnata* (ソーセージノキ) が、開花し、結実処理を行ったので報告する。

1 概要

1997年、種苗会社から樹高1.8mの株を導入し、大温室丸池前に植栽した。現在の樹高は、約3mで最大幹直徑は12cmである。

2 開花

2002年6月に剪定した枝先付近から花序が展開し始め、7月2日夜1番花が開花した。花序は下垂し、3段×3花で計9花あり、中段の1花が最初に開花し、同じ日に1~3花が開花した。天候にもよるが、夕方から夜に咲き始め、翌朝には花弁が落ちていた。

3 交配とホルモン処理

兵庫県立フラワーセンターでの処理事例を参考に、開花翌日に交配し、さらに翌日ホルモン処理を行った。

①交配

落下した花弁に雄しべがあり、その花粉を雌しべの柱頭に付けた。この時、二つに分かれた柱頭が花粉付着により、閉じるのが確認できた。複数の花がある場合は、他花の花粉を使った。注意することとして、落ちた花弁・雄しべの花粉をナメクジが全て食べ、花粉がない場合もあったので、地面に落下させない工夫が必要である。今回は、逆さにした傘を枝につけ、受けるようにした。

②ホルモン処理

市販のジベラ錠から作った液を、交配翌日、上向きの萼片一杯に入れた。液は、2~3日後に除去した。濃度は、250ppm、400ppmで行った。

なお、同センターによると、ホルモン処理をしない場合、奇形果になるとのことであった。

4 結果

9花すべて、着果しなかった。落ちた花は、花冠と花柄が離合したもの、花軸と花柄が離合したものがあった。



写真1. 雌しべと4本の雄しべ



写真2. 雌しべの柱頭が二つに分かれている この部分に花粉を付ける。

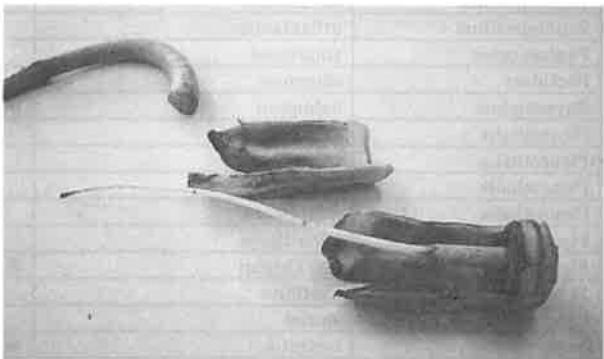


写真3. 落ちた花冠、花柄と萼片内部の様子